

小金井市立保育園の今後の運営に係る保護者説明会

「これからの保育について」

くりのみ保育園資料

令和5年7月1日（土）13:00～14:30

7月2日（日）9:30～11:00

- 1、これからの保育について
 - (1) 乳児保育で大切にしていきたいこと
 - (2) 異年齢保育で大切にしていきたいこと
 - (3) 行事について
 - (4) 給食について
- 2、子ども達や保護者の方々の心のケアについて
- 3、その他

1 これからの保育について

くりのみ保育園の保育目標である

- ① 生き生きと遊べる子
- ② 人と関わる力のある子
- ③ 愛される喜びにあふれている子

この3点は引き続き大事にしながら保育をしていきます。

段階的縮小に伴い保育園のねらいを全職員で考えました。

「安心してのびのびと過ごせる保育園」 「家庭的な環境の中で、さまざまな経験や体験ができる保育園」の二つです。

「安心してのびのびと過ごせる保育園」の具体的な取り組みとして、

- ・子どもたちや保護者の方々の気持ちをしっかりと受け止め、安心して過ごせる環境を整えます。
- ・子どもたちが好きな遊びを十分に楽しめる環境を作っていきます。

「家庭的な環境の中で、さまざまな経験や体験ができる保育園」の具体的な取り組みとして、

- ・日々の保育や行事などの取り組みの中で一人ひとりが主体となって様々な経験や体験ができる機会を設けていきます。

*家庭的な環境とは、子どもたちを中心に担任や関わる大人たちみんなが相談したり、どのような取り組みを試みたいか等の意見を出し合いながら進めていき、その中で少人数だからこそ体験できることや子どもたちの興味、関心があることを保障しつつ、安心して過ごし成長を保障していく場であると考えています。

(1) 乳児保育で大切にしていきたいこと

乳児期は人格形成の基礎となる、人との信頼関係を育てる大切な時期です。いつもお世話をする人、食事をする場所、眠る場所が変わることなく安心して過ごし、そのお子さんの場所として安心安全な環境づくりを心掛けています。

保育園は信頼できる大人と好きな友だちがいる場所で、大人に甘えたり、一緒に遊んだり、安心して過ごすことで気持ちが安定し成長、発達へとつながっていきます。段階的縮小となっても、変わらず個々の発達に合わせて環境を整え、子どもの気持ちに丁寧寄り添いながら健やかに成長できるよう保育をしていきます。

(2) 異年齢保育で大切にしていきたいこと

子ども達は、大きい子と小さい子が同じ空間にすることで、さまざまな体験や経験をしていきます。大きい子は自分が小さかった時にやってもらった体験をもとに、助けてあげる、教えてあげる、見守ってあげる、見せてあげる、小さい子の気持ちを考える、小さい子は見て学ぶなどのさまざまな経験を通じ自分からやってみようとする力が育ちます。人との関わり合い、社会性や協調性、自分で考える力、思いやる気持ちなど異年齢で過ごすことによって生きる力を育てていきます。

(3) 行事について

保育園ではこれまで、子ども達の成長につながるさまざまな経験や体験を得られるように計画を立て、行事を行ってきました。保護者の方々の中には、保育園が段階的に縮小され子ども達の人数が少なくなることで、これまで通りの行事が行えなくなるのでは、と不安を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、昨今の新型コロナウイルスの流行の際にも保育園では行事の取り組み方を検討し、見直しをせざるを得ない状況ありましたが、そのような状況の中においても、子ども達はこれまでと同様の特別な経験、体験をしながら新たな成長を見せてくれています。今後は、縮小に伴い行事のあり方の検討もあるかもしれませんが、これまでと同様に経験や体験を重ねながら成長を保障していける保育内容にしていきたいと思っております。

(4) 給食について

小金井市立保育園の給食は、「小金井市立保育園給食マニュアル」に基づき、安心・安全な給食提供を行っています。乳幼児期の子どもにとって、給食やおやつは大事な食事の一部です。手作りを基本とし、食材はできる限り国産のものを使用して、だし汁や素材の味を生かした調理を今後も心がけていきます。

食物アレルギーのあるお子さんへの対応についても現在と同様に「小金井市立保育園食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた対応を実施してまいります。

幼児クラスで行っているクッキング保育の実施や野菜の栽培と収穫、芋ほりなどの食体験を通じ、「食」の大切さ、「命を食べること」への感謝の気持ちを持って「いただきます」ができるよう食育も行っています。現在行っていることを継続して実施し、子どもたちにとって給食や給食を作っている大人を身近に感じ、食べることへの意欲をもてる環境作りに努めてまいります。

2、子ども達や保護者の方々の心のケアについて

保護者の方の心配ごとや不安な気持ちに寄り添い、心も身体も元気に過ごせるように支えてまいります。

園長、担任、看護師など職員をはじめ、園医や臨床心理士などの関係機関とも連携を取りながら子どもたちは楽しく園生活を送れるよう、また、保護者の方は安心してお子様を預けられるように努めてまいります。

いまのところ在園児の様子に変化は見られませんが、これからも些細な変化にも気づき、対応していけるようにしていきます。

3、その他

今年度4月からひよこ組（0歳児）の募集がなくなりました。現在0歳の保育室は、地域支援事業（くりのみで遊ぼう）や保護者の方との面談等で使用しています。

園庭は、さまざまな年齢の子どもたちが一緒に遊べる交流の場とし、近隣の保育園や市内の子どもたちが利用できるように開放しています。地域の方からの子育て相談も随時受けています。今後も地域支援事業を拡充できるように話し合っていきます。

市内の小学校や学童保育の見学、交流などは今までと同様に行ってまいります。